



世かだい

学校だより 1月号 令和5年1月10日

めざす児童像

- ・進んで学ぶ子
- ・心豊かで思いやりのある子
- ・元気でたくましい子



精華町立精華台小学校

検索

1月行事予定

下校時刻

日	曜日	行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日	元日						
2	月							
3	火							
4	水							
5	木							
6	金							
7	土							
8	日							
9	月	成人の日						
10	火	始業式 短3校時 大掃除				11:20		
11	水	短4校時				12:10		
12	木	給食開始		14:15			15:05	
13	金		13:25	14:15			15:05	
14	土							
15	日							
16	月	委員会③ 避難訓練		14:15				15:05
17	火	避難訓練予備日	14:15				15:05	
18	水					14:15		
19	木	クラブ③		14:15				15:05
20	金		13:25	14:15				15:05
21	土							
22	日							
23	月	発育測定(わ,5, 6年生)		14:15				15:05
24	火	発育測定(3, 4年生)	14:15					15:05
25	水	短5校時 発育測定(1, 2年生)				13:45		
26	木			14:15				15:05
27	金	短4, 5校時(ライトダウンデー)	12:50					13:45
28	土							
29	日							
30	月	全校5校時の日				14:15		
31	火			14:15				15:05

18日(水)が諸費引き落としとなります。残高等の確認をよろしく願います。

新年 明けまして おめでとうございます。
 今年は、「卯年」うさぎのように
 ジャンプ ジャンプ ジャンプ



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、本校の教育活動に温かいご理解、ご協力を賜り、心から感謝いたします。

これからの3か月は、各学年の締めくくりの時です。「1月は往ぬる。2月は逃げる。3月は去る。」の言葉通り、あっという間の季節です。一日一日を大切に過ごしたいと思います。

『夢を持つことの大切さや夢に向かって努力すること、相手への思いやりの気持ちを持つこと』を今年も伝え、全職員が「子どもたちのできる・わかったの思いを大切に教育活動」に取り組んでいきたいと思ひます。目標を定めて、ジャンプです。子どもたちがジャンプするとき、きっといろんな話をすると思ひます。

そこで、すてきな詩をご紹介します。

『子どもの話を聴くときは』

子どもの声を聴くときは、教えてもらおう気持ちでね
 一生懸命、耳傾けて、教えてもらおう、子どもの世界
 子どもの世界の扉はね、内側からしか開かないの
 信じる大人に向かつてね

子どもの話を聴くときは、じっくり、ゆっくり、ゆったりね
 言おうと思うと時間切れ中途半端はくるしいよ
 子どものつらさと言葉はね、外に出るまで時間があるの
 待つる時間も、聴いてる時間

子どもの話を聴くときは、「聴いてるサイン」を伝えてね
 あいづちうつて、うなずいて、子どもの言葉を繰り返して
 不安な気持ちの子どもはね、小さな合図で安心するの
 「ほく」をわかつてくれるな」って

子どもの話を聴くときは、瞳のサインをみていてね
 子どもは話したい大人のね、目なんか見ては話せない
 それでもわかつてほしいとき、瞳で合図を送ってる
 見逃さないで見ていてね

子どもの悩みを聴くときは、子どもの力を信じてね
 しっかり聴いて、じっくり支え、色んな見方のアドバイス
 だけど、最後は子どもがね、子ども自身で解決するの
 大人が信じた子どもはね、乗り越えられるよ、大丈夫

保護者・地域の皆様 本年もどうぞよろしく願います。

校長 徳田 加奈子



冬季体育の服装について

1,2月は寒さが厳しくなることが予想されますが、外での学習单元もあります。

冬季は、学習内容によって体操服の上からの上下着用、手袋も認めています。体が冷えるとケガをしやすくなることも考えられるので各ご家庭でご判断いただきまして、必要に応じてご準備いただきますようお願いいたします。

着用可のものについては、学校だより11月号に記載していますのでご確認ください。

元気な身体を保つために！



寒さも本格的になり、体調を崩しやすい時期となります。インフルエンザや感染性胃腸炎が流行する時期でもあり、予防のためにも、体調管理には十分気を付けたいものです。

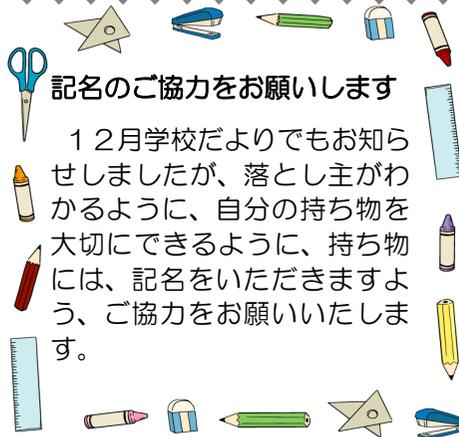
病気を予防し、丈夫な身体を作るためにも規則正しい生活習慣に心がけ、毎日、元気に登校できるよう、お子様にお声かけをお願いします。

さくら連絡網登録用紙 について



学校連絡用の「さくら連絡網」では、1児童に1枚登録用紙をお配りしています。

携帯電話の機種変更等、再登録の際は必要となりますので、ご家庭で大切に保管いただきますようお願いいたします。



記名のご協力をお願いします

12月学校だよりでもお知らせしましたが、落とし主がわかるように、自分の持ち物を大切にできるように、持ち物には、記名をいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

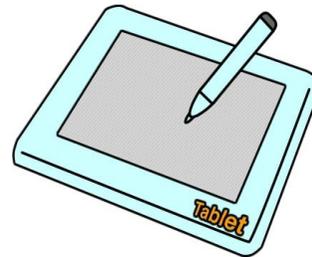
情報活用能力の向上に向けて

先月の27日に、文科省から小学5年生、中学2年生、高校2年生に実施した「情報活用能力調査」の結果の一部が公表されました。調査内容は、CBT（コンピュータ試験）で実施し、「キーボードでの文字入力の課題」「調査問題」「質問」の3つでした。

結果では、コンピュータ画面で指定されたとおりに保存フォルダを選べるかを問う問題の正答率が、小学生が51.5%、中学生が76.1%、高校生が83.5%で、校種が上がるにつれて得点が高くなる傾向にあったようです。小学校では、9段階のレベルの中で「指示に従って、アプリケーションを選択・操作できる」レベル4が最も多く25.8%、キーボードによる文字入力（ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベットの組み合わせ入力）の1分間の平均入力数は、小学校で15.8文字だったそうです。

本校でも、週末の宿題はタブレットを活用して取り組んでいます。学年が上がるにつれ、使用の頻度も増える傾向にあり、自分のパスワードを覚え、スムーズにログインできる児童がほとんどとなりました。また、学年が上がるにつれ、わからないことがあればタブレットで検索するなど、「学用品の1つ」としての活用する場面も多くみられるようになりました。さらに、学年によっては、提出物や成果物をデータ化し教師へ提出することもあります。データとして扱うことにより、文書作成の際は、加除・訂正が容易となるとともに、表、グラフ化することで、より聞き手を説得できる資料を作成できるメリットがあります。

しかしながら、「保存フォルダ」「キーボードを活用しての文字の打ち込み」などは、まだ課題があると考えられます。これからの時代を生き抜く子供たちに、情報活用能力は必須となるスキルです。学年の発達段階に沿って、フォルダごとに保存する経験（自分のフォルダや提出フォルダ）やタイピング技能の向上も、各教科の学習と結び付けながら技能の向上を図るとともに、情報をよりよく選択・活用していける力を育てていければと考えます。



そのためにも、教科学習内の探求時間を軸としながら、子どもたちが主体的に学ぶ方法を選択する力を身に付けさせる必要があります。図書やインターネット、インタビューなど様々なアプローチ方法を学ばせるとともに、それが生きて働く活用力となるように指導していきたいと思えます。